

## 東日本大震災に対するシンガポールの支援

東日本大震災から約1年4か月が経った2012年7月17日、シンガポール赤十字は同団体に集まった義捐金の全てが、支援や復興計画の支払いのために使い終わられたと発表しました。

この機会に、在シンガポール日本大使館として、我が国がシンガポール政府及び国民から受けた支援について取りまとめました。

改めてシンガポールの皆様の温かい支援に感謝します。

### 1. シンガポール政府からの支援

#### (1) 救助チームの派遣

2011年3月12日、SCDF（シンガポール市民防衛庁）から5匹の救助犬、5名の救助要員を福島県相馬市に派遣。世界各国の中で韓国に次いで2番目の派遣。

#### (2) 緊急物資支援

3月19日、30万シンガポールドル相当の緊急物資支援を実施。シンガポール政府の手配で宮城県仙台市に搬送。

- (ア) 毛布：4,350枚
- (イ) ミネラルウォーター：2万本
- (ウ) マットレス：200個
- (エ) 水用ポリタンク20L：3,000個
- (オ) 非常食：4,400食

4月21日、水用ポリタンク500個の追加支援を実施。宮城県石巻市に搬送。

#### (3) 寄付金

3月16日、シンガポール政府はシンガポール赤十字社を通じて50万シンガポールドルを寄付。

### 2. シンガポール民間団体・個人からの支援

\*シンガポール民間団体・個人からの義捐金総額（下記シンガポール赤十字、マーシー・リリーフ等からの義捐金の合計）

約4,144万シンガポールドル（約25.7億円）（2012年7月現在）

#### (1) シンガポール赤十字

シンガポール日本人会等と協力して在留邦人やシンガポール人等から幅広く募金活動を実施。約3,570万シンガポールドル（約22億円）の寄付金が集まった。在京大等を通じて以下を含む独自の被災者支援活動を実施。

- ア. 仮設ケアセンターの建設（岩手県宮古市）（約0.7億円相当）  
（2011年10月竣工、同年11月引渡し）
- イ. 多目的ホールの建設（岩手県陸前高田市）（約7億円相当）

(2012年3月着工、2013年末竣工予定)

ウ. 保育所の建設(宮城県七ヶ浜市)(約3.1億円相当)

(2012年7月着工、2013年半ば竣工予定)

エ. コミュニティーセンターの建設(福島県相馬市)(約1.2億円相当)

(2013年10月竣工予定)

(2) マーシー・リリーフ(Mercy Relief)

ア. 緊急物資支援

ー2011年3月18日、先遣チームを岩手県に派遣し、5万米ドル相当の支援物資(毛布、水、食料)を現地で調達。同月20日、支援チーム本隊が到着し、先遣チームと合流。岩手県釜石市で活動。同月24日には被災していない近隣県で物資を調達し、追加支援を実施。

ー3月27日、宮城県に活動場所を拡大し、支援物資(衛生用品)を供与。

ー4月1日、インスタントお粥2万個を宮城県石巻市に供与。

イ. 寄付金

260万シンガポールドル(約1億6900万円)の寄付金が集まった。

(参考) マーシー・リリーフは、2003年9月に設立された様々な宗教活動家が主体の人道支援NGO。アジア各地で活動しており、アチェの津波災害やミャンマーのサイクロン被害の際にも支援活動を行った実績あり。

(了)